



—東北エリア初<sup>※1</sup>「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化」の分譲地—

## “共助”を強化した「スマートハイムシティ佐沼中央」の販売を開始

- 国が推進するコミュニティ ZEH を取り入れ、地域の防災拠点として機能
- 「共助」の考えを取り入れ、住民同士が助け合える街

2020年10月30日  
セキスイハイム東北株式会社

セキスイハイム東北株式会社（代表取締役社長：岡田雅一、所在地：宮城県仙台市）は、国のコミュニティ ZEH の推進を受けて、コミュニティ ZEH の考えを取り入れ<sup>※1</sup>レジリエンスを強化した東北エリア初の分譲地「スマートハイムシティ佐沼中央」の販売を10月30日（金）より本格開始いたします。

災害発生時にも住民同士でスムーズな対応が行えるよう、「スマートハイムシティ佐沼中央」では「共助」の考え方を取り入れています。CO<sub>2</sub> 排出量削減などにより環境負荷軽減に資するだけでなく、防災拠点となる分譲地を発売し、地域社会へ貢献します。

### 「スマートハイムシティ佐沼中央」の特長

#### ■国が推進するコミュニティ ZEH を取り入れ、地域の防災拠点として機能

国は災害の激甚化・頻発化を背景に、今年から「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業（令和元年度補正予算）」において、停電時でも自立的に電力の供給が可能な ZEH を活用した地域防災拠点の整備を促進し、自然災害等に伴う長期停電リスクを回避可能な住宅モデルを推進しています。地域コミュニティにおいて太陽光発電システム（以下「PV」）や蓄電システムを搭載した ZEH+や ZEH+R を満たす住宅<sup>※2</sup>の余剰電力<sup>※3</sup>を、停電時<sup>※4</sup>に広く地域住民に提供し、地域住民はその電力で電気機器の充電等ができます。ZEH+や ZEH+R を多数建築する当社はこの考えに共感し、コミュニティ ZEH の考えを取り入れた「スマートハイムシティ佐沼中央」の展開を開始いたします。

#### ■「共助」の考えを取り入れ、住民同士が助け合える街

「スマートハイムシティ佐沼中央」では、全戸に太陽光発電システムと HEMS、蓄電システムの採用を推奨しています。各世帯で停電でも電気が使用<sup>※4</sup>できれば、万が一の災害時でも普段に近い生活を続ける事が可能となります。各世帯の災害対策にプラスして、地域住民同士で支えあう「共助」の考えを取り入れ、停電時の円滑な電力供給はもちろんのこと、地域コミュニティの形成もサポートします。

#### ■「スマートハイムシティ佐沼中央」の概要

名称：スマートハイムシティ佐沼中央  
所在地：宮城県登米市迫町佐沼字中江 5 丁目 5 番 22 他  
区画数：全 13 区画（分譲住宅 4 区画、建築条件付き分譲地 9 区画）

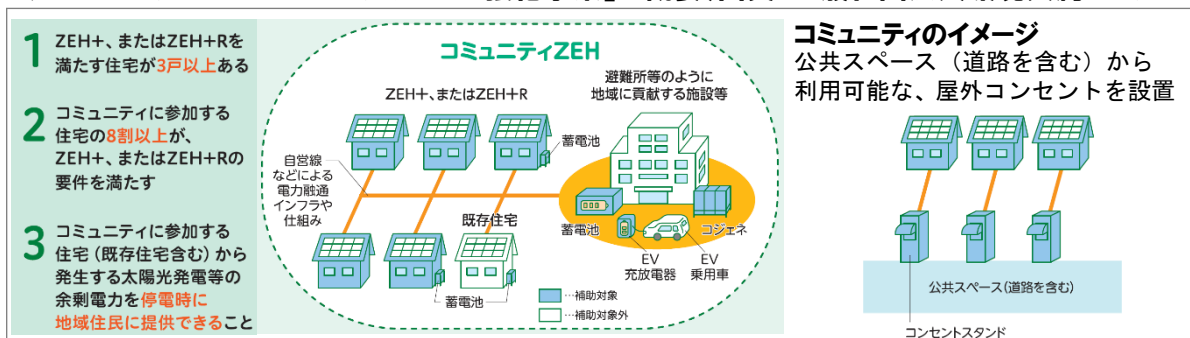
## ■「スマートハイムシティ佐沼中央」発売の背景

近年多発している自然災害への備えとして、各家庭での対策だけでなく地域住民同士で支えあう「共助」が改めて注目されています。災害が発生した際にも住民同士でスムーズな対応が行えるよう、「スマートハイムシティ佐沼中央」では「共助」の考え方を取り入れています。日頃から停電時に利用可能な電気機器や時間帯などを近隣住民と情報共有することで、停電時の円滑な電力提供はもちろんのこと、住民同士のコミュニケーションを促し地域コミュニティの形成もサポートします。

「スマートハイムシティ佐沼中央」の販売により、コミュニティ ZEH を推進することで CO<sub>2</sub> 排出量削減などにより環境負荷軽減に資するだけでなく、防災拠点として地域社会へのさらなる貢献を目指します。また、SDGs に掲げられている「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」の目標実現にも寄与します。



## ◆「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業」の概要(出典:一般社団法人環境共創イニシアチブ)



## ■「スマートハイムシティ佐沼中央」の特長

「スマートハイムシティ佐沼中央」は、主要幹線道路沿いに位置し、交通アクセスが良く生活便利性の高い立地です。また、生活圏内に文教施設をはじめ、商業施設や公園などが充実した住みやすい環境となっています。

「スマートハイムシティ佐沼中央」では、災害に強い街づくりを目指し、全戸で PV、HEMS、蓄電システムの採用を推奨しています。近年は地震だけではなく、台風による停電被害も頻発していますが、停電時でも電気を使用<sup>\*4</sup>できるので、そのような災害時でも普段に近い生活を続ける事が可能となり、自宅で過ごすことができます。

自身と家族の安全が確保できた後は、地域の人々を助ける「共助」が必要となります。

「スマートハイムシティ佐沼中央」では「共助」の考え方を取り入れ、屋外コンセントを設置することで停電時に PV で発電した余剰電力の地域住民への供給を可能にし、非常時にも頼れるコミュニティの形成をサポートします。

## ■「スマートハイムシティ佐沼中央」の外観・内観



A 棟完成予想図(外観)

(外観イラストは、計画段階の図面を基に描き起こしたもので  
形状・仕様・植栽・色彩等は実際とは多少異なります。)



A 棟完成予想図(内観)

(内観イラストの家具・インテリア等は配置イメージで、販売価格には含まれません。)

- ※1: 「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業」の交付決定を受けております。  
(東北エリアではセキスイハイム東北(株)1社のみ令和元年度補正 コミュニティ ZEH による  
レジリエンス強化事業の交付決定を受けております。)
- ※2: 「コミュニティ ZEH によるレジリエンス強化事業」の要件を満たした住宅を指します。
- ※3: 使用方法によっては余剰が発生しない場合があります。
- ※4: 停電時に利用できる家電機器は限られます。利用できる時間は実際に利用する家電機器、天候等  
による発電状況により異なります。また事前に計画したコンセント・スイッチでのみ電力が使用  
可能です。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

セキスイハイム東北株式会社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 3-4-1 アゼリアヒルズ 11F

■本社 分譲推進部 担当: 遠藤/平石 TEL: 0120-11-8163

■仙台支店 分譲企画課 担当: 本杉/細梅 TEL: 0120-028-816